

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- 滅菌済 スクリュースピッツ 10mL (栄研化学株式会社)
- 48 Jacket Tubes 2.0mL External-Type (FCR & Bio)
- 100穴フリーザーラック(2D用) (FCR & Bio)
- 遠心機(Kubota 4000)



滅菌済
スクリュースピッツ
10mL
(栄研化学株式会社)



48 Jacket Tubes 2.0mL
External-Type
(FCR & Bio)

2. 採血と分離(病院検査室での作業)

- 2-1. 準備した採取容器に採取。
- 2-2. 病院検査部の冷蔵庫に一時保存。

3. 分注(バイオバンク試料調整室での作業)

- 3-1. 検査室に保存している尿をバイオバンクに移送(on ice)
- 3-2. 4°Cで3500 rpm、5分間遠心。
- 3-3. 検体番号ラベルを貼ったチューブに(1500 μ L)分注。

4. 保存

- 4-1. チューブは100穴フリーザーラック(2D用)に並べ、超低温(-80°C)フリーザーで保存。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。